

平成 17 年 4 月 13 日

2008 年サミットの関西誘致に係る申し合わせ

関 西 経 済 連 合 会
京都府・京都市・京都商工会議所
大阪府・大阪市・大阪商工会議所
兵庫県・神戸市・神戸商工会議所

我が国で 5 度目の開催となる 2008 年主要国首脳会議(サミット)については、「関西サミット」として、京都または大阪で、また、関係閣僚会議はサミット開催地以外の京都、大阪または神戸で開催されるよう、関西が一丸となって取り組む。

「関西」は、東京を中心とした首都圏と並ぶ我が国経済の 2 大拠点として発展し、海外、特に東アジアとの活発な交流の中で、日本文化の中核を形成してきた。さらに、本年 4 月には京都迎賓館が開館し、サミット前年の 2007 年には、関西国際空港の第二滑走路が供用開始となるなど、アジア・世界との交流の拠点としての役割は、今後、益々高まることとなる。

京都、大阪、兵庫は自治体や経済界が十分に連携し、第 7 回 APEC 大阪会議や地球温暖化防止京都会議(COP3)、国連防災世界兵庫会議など、大規模かつ多様な国際会議を成功させてきた実績を有していることから、施設や警備、宿泊、交通の面でも、サミットの開催地としてふさわしい都市基盤を備えている。

こうした環境のもと、「関西」で首脳会議や閣僚会議を開催することは、日本の文化の原点である関西の素晴らしさを、各国首脳をはじめ、世界に向かって発信できることとなり、必ずやサミットを成功させる大きな原動力となると確信する。